

CASBEE®-建築(新築) | 評価結果 |

■使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2016年版 | 使用評価ソフト: CASBEE-BD_NC_2016(v2.1)

| 1-1 建物概要 | | 1-2 外観 | |
|----------|-----------------------|--------|-----------------|
| 建物名称 | 新設特別支援学校(井手地区) | 階数 | 地上4F |
| 建設地 | 京都府綴喜郡井手町大字井手小字 | 構造 | RC造 |
| 用途地域 | 地区計画区域 | 平均居住人員 | 350 人 |
| 地域区分 | 5地域 | 年間使用時間 | 2,000 時間/年(想定値) |
| 建物用途 | 学校 | 評価の段階 | 実施設計段階評価 |
| 竣工年 | 2020年12月 予定 | 評価の実施日 | 2018年10月10日 |
| 敷地面積 | 21,636 m ² | 作成者 | (株)大建設計 松岡 |
| 建築面積 | 5,961 m ² | 確認日 | 2018年10月10日 |
| 延床面積 | 14,096 m ² | 確認者 | (株)大建設計 松岡 |



2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

BEE = 1.6

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★

2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)

標準計算

①参照値: 100%
 ②建築物の取組み: 92%
 ③上記+②以外の: 91%
 ④上記+: 91%

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO₂排出量の目安で示したものです。

2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

Q2 サービス性能: 5
 Q3 室外環境(敷地内): 4
 LR3 敷地外環境: 3
 LR2 資源・マテリアル: 2
 LR1 エネルギー: 1
 Q1 室内環境: 1

2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q のスコア = 3.6

Q1 室内環境

Q1のスコア = 3.3

Q2 サービス性能

Q2のスコア = 3.7

Q3 室外環境(敷地内)

Q3のスコア = 3.9

LR のスコア = 3.4

LR1 エネルギー

LR1のスコア = 3.3

LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア = 3.7

LR3 敷地外環境

LR3のスコア = 3.1

3 設計上の配慮事項

| 総合 | その他 |
|---|---|
| 周囲の山並みや河川への眺望を損なわない建物高さ、デザインとし、近隣へ配慮した親しみのもてる建物とした。 | 0 |
| Q1 室内環境 各教室は間口を広くとり、昼光率5.1を確保した。 | Q2 サービス性能 各教室の天井高さは2.7mを確保し、階高にゆとりを持たせている。また、支援学校であるため、耐久性や防汚性、清掃の容易さにも最大限配慮している。 |
| Q3 室外環境(敷地内) 植栽による良好な景観形成を行っている。 | LR1 エネルギー トランプライトを設けることで、エネルギーの削減を行った。 |
| LR2 資源・マテリアル RC躯体と内装仕上げは容易に分別可能な取まりとし、資源の再生利用可能性の向上に寄与している。 | LR3 敷地外環境 周囲との調和を考慮し、外構にはほとんど照明を計画していない。 |

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■Q: Quality (建築物の環境品質), L: Load (建築物の環境負荷), LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性), BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される